

岡山県「スマート農業技術開発プラットフォーム」  
令和4年度部門別交流（プラカフェ）開催実績

1 目的

倉敷市船穂地域は、長い歴史と高い技術力を有するぶどうの産地であるが、近年ハダニ類など、発見しにくい微小な害虫による被害が見られる。

このため、ぶどうほ場の視察を行うとともに、微小害虫を早期に発見できる機械・器具の開発など、産地の課題解決に向けた意見交換を行う。

2 日時 令和4年10月3日（月）13:30～15:30

3 場所 視察：倉敷市船穂町内 ぶどうほ場  
講演、意見交換：JA晴れの国岡山船穂支店 会議室

4 内容 (1) ぶどうほ場の視察  
(2) 動画からの病害虫検出・識別について（講演）  
(3) 微小害虫を早期発見できる機械・器具の開発に向けた意見交換

5 講師 岡山県立大学 情報工学部 滝本裕則 准教授

6 参加者 プラットフォーム会員企業、大学等関係機関の担当者（20名程度）



現地視察（シャインマスカット圃場）



室内研修（講演）